

目次

Windows・その他のアプリの動作	2
■ エクスプローラーの縮小表示やサムネイルが表示されない	2
■ デスクトップのアイコンの配置が変わる	2
■ 外付け USB-HDD がエクスプローラーから見えなくなった	2
■ 秘密分散領域に作成したフォルダーに暗号化の設定をしても、再起動すると暗号化が解除される	2
■ Windows にサインインすると本製品の初期設定に誘導するガイドが表示される	2
■ Windows の「システムの保護」を使用して復元ポイントの状態に戻す処理が使用できない	2
■ Google Drive のミラーリング先を秘密分散領域に指定するとファイルが同期されません	2
■ アプリで保存先フォルダーが開けない、ファイルの保存ができない	2
■ Word、Excel、PowerPoint などオフィスアプリでファイルを保存しようとすると、RAM ディスクのサイズは十分空いているのにファイルを保存できない	3
■ Visual Studio でプロジェクトを開いていると定期的に「プロジェクトは環境外で変更されています」というポップアップが表示される	3
■ Visual Studio でプロジェクトをビルドすると、途中でアクセス拒否などのエラーが発生して、ビルドが失敗する	3
■ ファイルの追加や削除、OneDrive、ファイルサーバー、スマートフォン、USB メモリの接続や切断を行ったときに、エクスプローラーやデスクトップの表示が正しく更新されない	3
■ 秘密分散領域として保護しているフォルダーへのファイル保存することができない	3
■ プロキシ設定されたネットワーク外の一般のネット回線から、デスクトップなどの秘密分散領域が使える	3
■ LDP 設定画面を表示した状態で Windows の設定でハイコントラストに設定すると一部表示が見えなくなった	4
■ サーバー、持ち出しデバイスから切断した状態でも、秘密分散処理されたファイルがクイックアクセスの「最近使用したファイル」に表示される	4
■ Windows のアップデートを実施すると、デスクトップ上にあったファイルが消えた	4
Local Data Protection for FAT PC の動作	4
■ 本製品のアプリの画面が部分的に表示されない	4
■ C: ドライブ以外を秘密分散領域に設定する事はできますか？	4
■ ファイルシステムが RefS のドライブに保存されたファイルが、リスクとして検出されない	4
■ 秘密分散領域にトレースログを保存すると、リスクとして検出される	4
■ アプリがインストールされているのにトレースログでリスクを確認すると、「アンインストール済」と表示される	4
■ 「RAM ディスクがいっぱいでは結合できません。不要なファイルを閉じてください」というメッセージが表示され、ファイルを開けなかつたりコピーできなかつたりする	4
■ リスク通知ログにパソコンが安全な状態であるという証拠が記録されない	5
■ 本製品の「x x x x から切断する」を実施しないで、パソコンの電源を切ったり再起動したりサインアウトしたりすると、ファイルが正しく保存されない可能性があります	5
■ 初期設定に非常に長い時間がかかる	5
■ ファイルの保護を無効にする操作に非常に長い時間がかかる	5
■ ファイルの保護を無効にする操作を実行すると「ディスク空き容量が不足しています」のメッセージが表示され、ファイルの保護を無効にできない	5
■ 秘密分散処理対象領域でファイルのコピー・移動や、Zip ファイルの「すべて展開」を実行していると「予期しないエラーのため、ファイルをコピーできません」というエラーメッセージが表示された	5
■ Local Data Protection フォルダー内の各装置のデータ格納フォルダーを特定したい	6
■ シャットダウンをキャンセルしてデスクトップに戻ると通知領域から LDP のアイコンが消えて再接続やアプリ操作ができなくなった	6
オンライン運用について	6
■ 本製品を「オンライン運用」でご使用の場合、OneDrive、ファイルサーバーに接続できないとパソコンを使用することができません	6
■ OneDrive から切断されて、接続できなくなった	6
■ 「OneDrive に接続できませんでした。」「ファイルサーバーに接続できませんでした。」というメッセージが表示される	6
■ 本製品の初期設定の OneDrive への接続確認において正しいユーザーアカウント・パスワード・多要素認証を行っているのに「OneDrive が利用できません」となり失敗する	7
■ 「スマートフォンに接続できませんでした」または「USB メモリに接続できませんでした」というエラーが表示され、「オンライン運用」から「オフライン運用」に切り替えられない	7
■ 「OneDrive に接続できませんでした。」「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示され、「OneDrive から切断する」、「ファイルサーバーから切断する」を実行できない	7
オフライン運用について	7
■ 本製品を「オフライン運用」でご使用の場合、持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB メモリに接続できないとパソコンを使用することができません	7
■ iPhone を持ち出しデバイスにして使用していると、接続時にエラーになった	7
■ 持ち出しデバイス（スマートフォン）が接続されていないというメッセージが表示される	8
■ 本製品が持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB デバイスに保存されるファイルについて	8
■ 持ち出しデバイスとして登録したスマートフォンからスマートフォンアプリの「Local Data Protection」やそのデータを削除するとパソコンが使えなくなった	8
■ 「スマートフォン接続」、「USB メモリ接続」画面で「スマートフォンが無い場合」、「USB メモリがない場合」を選択し使用開始するとオフライン運用で作成したファイルや、更新した内容が消えた	8
■ 「オフライン運用」が使用できない	8
■ 「持ち出しデバイスの使用申請が許可されていません」のメッセージが表示され、「オフライン運用」に切り替えられない	8
■ 「スマートフォンに接続」画面でスマートフォンに接続できない	9
■ Windows にサインインしてパソコンを使っている間にスマートフォンから切断されスマートフォンに接続できない	9
■ 「OneDrive に接続できませんでした」または「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示され、「オフライン運用」から「オンライン運用」に切り替えられない	9
■ 「スマートフォンに接続できませんでした。」「USB メモリに接続できませんでした」というエラーが表示され、「スマートフォンから切断する」、「USB メモリから切断する」を実行できない	9
■ デバイスマネージャー上は USB メモリが見えているのに、オフライン運用で USB メモリを利用できない	10

Windows・その他のアプリの動作

■ エクスプローラーの縮小表示やサムネイルが表示されない

本製品の仕様です。

エクスプローラーの縮小表示やサムネイル表示がオンになっていると、縮小表示のためのキャッシュファイルが頻繁にアクセスされ秘密分散処理が高負荷になるため、本製品の初期設定時にオフに設定しています。オンに設定変更しないでください。

■ デスクトップのアイコンの配置が変わる

本製品の「x x x x xから切断する」、「x x x x xに接続する」を実行すると、デスクトップに保存された秘密分散処理対象ファイルのアイコンの非表示/表示の設定が変更されます。

この動作に伴い Windows の設定状況に応じてデスクトップのアイコンが再配置されるため、アイコンの位置が変わる場合があります。

※「x x x x xから切断する」、「x x x x xに接続する」の「x x x x x」の部分のご利用環境により、「OneDrive」、「ファイルサーバー」、「スマートフォン」、「USB メモリ」の表示になります。

■ 外付けUSB-HDDがエクスプローラーから見えなくなった

本製品をインストールし初期設定を実施すると「ローカルディスク」として見えているドライブレターはすべてマスクされ、エクスプローラーから見えなくなります。まれに外付け USB-HDD でもローカルディスクとして認識されるものがあるため注意が必要です。Windows の powershell で "[IO.DriveInfo]::GetDrives()" のコマンドを実行し表示される結果にて、DriveType : Fixed と表示されるドライブは、「ローカルディスク」と認識されます。

■ 秘密分散領域に作成したフォルダーに暗号化の設定をしても、再起動すると暗号化が解除される

本製品の仕様です。秘密分散領域に作成したフォルダーに暗号化の設定をすることはできません。暗号化を有効にしても、パソコンを再起動すると暗号化の設定は解除されます。

■ Windowsにサインインすると本製品の初期設定に誘導するガイドが表示される

本製品の初期設定を完了するまでは、初期設定に誘導するガイドが Windows にサインインしたときに自動的に表示されます。

本製品の初期設定は、利用するユーザーアカウントでサインインして行ってください。

ほかのユーザーアカウントで初期設定すると正常に動作しません。ほかのユーザーアカウントで Windows にサインインしたときは、ガイドを閉じてください。このとき「データ漏えいリスク有」と警告されますが、「OK」ボタンを押して閉じてください。

■ Windowsの「システムの保護」を使用して復元ポイントの状態に戻す処理が使用できない

本製品の仕様です。

Windows の「システムの保護」を使用して復元ポイントの状態に戻す処理はお使いいただけません。

本製品が動作しているとパソコン内のファイルは、秘密分散処理された断片のみ保存されます。

また、この断片はもう一方が OneDrive、ファイルサーバーやスマートフォン、USB デバイスなどのパソコン外に保存され、両者に不整合があると正しくファイルを復元できなくなります。

Windows のシステムの保護によって記録された状態を復元しようとするるとパソコン内の秘密分散処理された断片と、OneDrive、ファイルサーバーやスマートフォン、USB デバイスに保存されている断片に不整合が生じるためファイルが復元されません。

■ Google Driveのミラーリング先を秘密分散領域に指定するとファイルが同期されません

本製品と Google Drive を同じパソコンで使用する場合は、Google Drive のミラーリング先を秘密分散領域に指定することはできません。Google Drive のミラーリング先を秘密分散領域以外に指定し、ローカルファイル検出対象から Google Drive のミラーリング先を除外指定してご使用いただくことは可能ですが、その場合は Google Drive のミラーリング先のファイルは本製品によって保護されません。

■ アプリで保存先フォルダーが開けない、ファイルの保存ができない

本製品で初期設定を完了する（ファイルの保護を有効にする）と、利用者からは秘密分散領域のフォルダーしか見えなくなります。

アプリによっては、デフォルトの保存先が秘密分散領域外になっているものがありますので、その場合は、保存先を秘密分散領域のフォルダーに変更してご使用ください。

■ Word、Excel、PowerPointなどオフィスアプリでファイルを保存しようとする、RAMディスクのサイズは十分空いているのにファイルを保存できない

Word、Excel、PowerPoint などオフィスアプリはファイルを保存するときに、一度別の名前でファイルを保存したあとに、指定した名前のファイルに置き換えます。このため、実際のファイルサイズの2倍以上の容量を使用します。

Word、Excel、PowerPoint などオフィスアプリをお使いになる場合は、RAM ディスクの空き容量・サイズとして、保存したいファイルの3倍程度を確保するようにしてください。

■ Visual Studioでプロジェクトを開いていると定期的に「プロジェクトは環境外で変更されています」というポップアップが表示される

本製品の仕様です。本製品の秘密分散処理と Visual Studio の機能(プロジェクト変更監視)の動作が競合するため発生します。

開発環境をお使いになる場合は、本製品をアンインストールするか、本製品の制御対象外のフォルダーで作業するようにしてください。

■ Visual Studioでプロジェクトをビルドすると、途中でアクセス拒否などのエラーが発生して、ビルドが失敗する

本製品の仕様です。本製品の秘密分散処理と Visual Studio の機能(ビルド)の動作が競合するため発生しています。開発環境をお使いになる場合は、本製品をアンインストールするか、本製品の制御対象外のフォルダーで作業するようにしてください。

■ ファイルの追加や削除、OneDrive、ファイルサーバー、スマートフォン、USBメモリの接続や切断を行ったときに、エクスプローラーやデスクトップの表示が正しく更新されない

本製品および Windows の制限事項です。

F5 キーを押してエクスプローラーの表示を更新してください。

ファイル一覧が更新されるときに、エクスプローラーが正しく表示を更新しないことがあります。

本製品の秘密分散処理が、ファイルサーバーや持ち出しデバイスの接続状況に応じてファイルを見せたり隠したりする制御も、この影響を受けてしまい、エクスプローラーの表示に正しく反映されないことがあります。

■ 秘密分散領域として保護しているフォルダーへのファイル保存することができない

本製品が、秘密分散領域として保護しているフォルダーにファイルを保存するときは、OneDrive、ファイルサーバー、スマートフォン、USBメモリに接続してください。

接続されていないときは、秘密分散領域として保護しているフォルダーへのファイル保存を禁止しています。

「アクセスが拒否されました」とエラー表示される場合もあります。

OneDrive、ファイルサーバー、スマートフォン、USBメモリに接続できないときは、他の場所にファイルを保存してください。ただし、他の場所にファイルを保存した場合は秘密分散処理されませんので安全な状態ではありません。

本製品の秘密分散領域は、各ユーザーの以下の7つのフォルダーです。

- ・ 3D オブジェクト
- ・ ダウンロード
- ・ デスクトップ
- ・ ドキュメント
- ・ ピクチャ
- ・ ビデオ
- ・ ミュージック

■ プロキシ設定されたネットワーク外の一般のネット回線から、デスクトップなどの秘密分散領域が使える

OneDrive の仕様です。

プロキシ設定されたネットワークに接続していなくても、OneDrive に接続されて、デスクトップやドキュメントなどの秘密分散領域が使えることがあります。

OneDrive に初めて接続するときは、プロキシ設定されたネットワークに接続されている必要がありますが、一度 OneDrive に接続されると約1時間は、プロキシ設定されたネットワーク外の一般のインターネット回線からでも OneDrive に接続できます。

※「約1時間」は AzureAD の設定の規定値です。システム管理者の運用設定により、この時間は変わる可能性があります。

■ LDP設定画面を表示した状態でWindowsの設定でハイコントラストに設定すると一部表示が見えなくなった

LDP 設定画面を表示した状態で Windows の設定でハイコントラストに設定すると一部表示が見えなくなる場合があります。設定後パソコンを再起動すると見えるようになります。

ハイコントラストに設定を変更する場合は、LDP のウィンドウをすべて閉じてから実施してください。

■ サーバー、持ち出しデバイスから切断した状態でも、秘密分散処理されたファイルがクイックアクセスの「最近使用したファイル」に表示される

サーバー、持ち出しデバイスから切断した状態では、アクセスができないため中身を確認・編集することはできませんが、ファイル名は表示されます。

「最近使用したファイル」の表示は、エクスプローラーの「表示タブ」-「オプション」を選択し、フォルダー オプションの設定を変更することで非表示に設定できます。

■ Windowsのアップデートを実施すると、デスクトップ上にあったファイルが消えた

本製品および Windows の制限事項です。

本製品動作中に Windows のアップデートを実施すると、デスクトップ上のファイルが、"C:¥Windows.old¥users¥username¥Desktop"フォルダーに移動される場合があります。その場合は、"C:¥Windows.old¥users¥username¥Desktop"フォルダー内のファイルを、"C:¥¥users¥username¥Desktop"フォルダーに戻すことで復旧できます。

Local Data Protection for FAT PCの動作

■ 本製品のアプリの画面が部分的に表示されない

本製品の仕様です。本製品を 1366x768 ドットよりも低い解像度、またはタブレットパソコンなどを縦画面でお使いの際に、アプリの画面が表示しきれないことがあります。その場合、標準の解像度や横画面にてご利用ください。

■ C:ドライブ以外を秘密分散領域に設定する事はできますか？

C:ドライブ以外のドライブを秘密分散領域に設定することはできません。

■ ファイルシステムがReFSのドライブに保存されたファイルが、リスクとして検出されない

「Local Data Protection for FAT PC」は、NTFS のドライブのみ対象です。その他のファイルシステムには対応していません。

■ 秘密分散領域にトレースログを保存すると、リスクとして検出される

調査用のログファイルは、秘密分散処理されずに保存されます。そのため、保存先に秘密分散領域を指定すると、「秘密分散領域上の、分散されていないファイル」となり、リスクとして検出されます。

このリスクを解消するには、2つの方法があります。

- ・ 秘密分散領域外に保存する
- ・ 秘密分散領域に保存し、すぐにシステム管理者に送付し、秘密分散領域に保存したログファイルを削除する

■ アプリがインストールされているのにトレースログでリスクを確認すると、「アンインストール済」と表示される

「アンインストール済」になっている場合は、アプリがアンインストールされ、秘密分散処理をする前の状態（ファイルの保護が無効）になっています。

インストール済で初期設定されていない場合も「アンインストール済」になります。

■ 「RAMディスクがいっぱいで結合できません。不要なファイルを閉じてください」というメッセージが表示され、ファイルを開けなかつたりコピーできなかつたりする

「RAM ディスクがいっぱいで結合できません。不要なファイルを閉じてください」というメッセージが表示された場合は、次の対処を行ってください。

- ・ エクスプローラーのウィンドウが開いている場合、一度閉じてください。
エクスプローラーはファイルのアイコンやプロパティ情報を表示するためにバックグラウンドでファイルを開くことがあります。
それ以外の場合は、少し待ってみてください。バックグラウンドで動作しているアプリがファイルを閉じて RAM ディスクが解放されるとファイル操作を行えるようになります。

■ リスク通知ログにパソコンが安全な状態であるという証拠が記録されない

Windows やその他のアプリからの、再起動、シャットダウンの操作要求があった場合にも、本製品のホーム画面で「x x x x x から切断する」を実行後に実施してください。

パソコンが安全な状態であるという証拠を記録するには、そのことを記録したリスク通知ログが OneDrive またはスマートフォン/USB デバイスにアップロードされる必要があります。

「x x x x x から切断する」を実施しないで、Windows のシャットダウンや再起動、サインアウトが行われると、リスク通知ログがアップロードされない場合があるため、パソコンが安全な状態であるという証拠が記録されない可能性があります。

この状態でパソコンを紛失すると「データ漏えいする可能性があった」ものとして判断されます。

※「x x x x x から切断する」の「x x x x x」の部分はご利用環境により、「OneDrive」、「ファイルサーバー」、「スマートフォン」、「USB メモリ」の表示になります。

■ 本製品の「x x x x x から切断する」を実施しないで、パソコンの電源を切ったり再起動したりサインアウトしたりすると、ファイルが正しく保存されない可能性があります

Windows やその他のアプリからの、再起動、シャットダウンの操作要求があった場合にも、本製品のホーム画面で「x x x x x から切断する」を実行した後に実施してください。

秘密分散処理されたファイルが正しく保存された状態になるには、秘密分散処理された断片が OneDrive、ファイルサーバーまたはスマートフォン/USB デバイスにアップロードされる必要があります。「x x x x x から切断する」を実施しないで、Windows のシャットダウンや再起動、サインアウトが行われると、このアップロード処理を実行するのに必要な常駐プロセスやシステムサービスが本製品よりも先に終了してしまい、断片のアップロードを正常に完了できない可能性があります。

※「x x x x x から切断する」の「x x x x x」の部分はご利用環境により、「OneDrive」、「ファイルサーバー」、「スマートフォン」、「USB メモリ」の表示になります。

■ 初期設定に非常に長い時間がかかる

初期設定を行うときにパソコン内に存在しているファイルを秘密分散処理しているため、パソコン内にあるファイル数に比例して時間がかかります。

パソコン内に文書ファイルなど多くのファイルを保存する前に、初期設定を完了させてください。

■ ファイルの保護を無効にする操作に非常に長い時間がかかる

本製品のアンインストール時には、その前にファイルの保護を無効にする操作を実施する必要があり、秘密分散処理されたファイルを復元するため、パソコン内にある秘密分散処理されたファイルの数に比例して時間がかかります。ファイルの保護を無効にする操作の前に不要なファイルを削除したりごみ箱を空にしたりして秘密分散処理されたファイルを減らして、一旦 OneDrive、ファイルサーバーから切断、再起動した後に、サインインし、再度 OneDrive、ファイルサーバーに接続し、ファイルの保護を無効にする操作を実施してください。

■ ファイルの保護を無効にする操作を実行すると「ディスク空き容量が不足しています」のメッセージが表示され、ファイルの保護を無効にできない

「ディスク空き容量が不足しています」のメッセージで「OK」を選択して、ファイルの保護を無効にする処理を中止し、不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてから再度実行してください。

本製品のファイルの保護を無効にする操作中は秘密分散処理されたファイルを復元するため、C ドライブのディスク使用量が通常時より増えます。

ファイルの保護を無効にする操作の前に不要なファイルを削除したりごみ箱を空にしたりして秘密分散処理されたファイルを減らして、一旦 OneDrive、ファイルサーバーから切断、再起動した後に、サインインし、再度 OneDrive、ファイルサーバーに接続し、C ドライブの空き容量を十分に確保してからファイルの保護を無効にする操作を実施してください。

■ 秘密分散処理対象領域でファイルのコピー・移動や、Zipファイルの「すべて展開」を実行していると「予期しないエラーのため、ファイルをコピーできません」というエラーメッセージが表示された

「予期しないエラーのため、ファイルをコピーできません」というエラーメッセージが表示された場合、以下のような対処をしてから「再試行」ボタンをクリックしてください。

・ 他に使っているファイルがあれば閉じる

なお、Local Data Protection の設定から RAM ディスクのサイズを大きくすると秘密分散処理のファイルを結合する作業領域を増やすことができます。このエラーメッセージが頻繁に表示される場合は、RAM ディスクのサイズを大きくしてください。

■ Local Data Protectionフォルダー内の各装置のデータ格納フォルダーを特定したい

Local Data Protection フォルダー内の各装置のデータ格納フォルダー名は本製品が独自に自動生成します。各装置のデータ格納フォルダーを特定するには、固有のファイル(txt ファイルなど)を秘密分散領域内に作成し、バックアップを実行して Backup フォルダー内に固有のファイルがバックアップされることにより特定してください。

■ シャットダウンをキャンセルしてデスクトップに戻ると通知領域からLDPのアイコンが消えて再接続やアプリ操作ができなくなった

Word ファイルなどを編集時にシャットダウンを実行すると抑止機能が働きますが、シャットダウンをキャンセルしデスクトップに戻ると、通知領域から LDP のアイコンが消えてしまい再接続やアプリ操作ができなくなる場合があります。

その場合は、すべてのアプリ画面を終了しシャットダウンしてください。

オンライン運用について

■ 本製品を「オンライン運用」でご使用の場合、OneDrive、ファイルサーバーに接続できないとパソコンを使用することができません

本製品を「オンライン運用」でご使用の場合、次の情報を OneDrive、ファイルサーバーに送信したり受信したりする必要があります。

- ・ 秘密分散処理された断片
- ・ リスク通知ログ

このため、OneDrive、ファイルサーバーに接続できないとパソコンを使用することができません。

OneDrive、ファイルサーバーに接続できる条件については、システム管理者にご確認ください。

■ OneDriveから切断されて、接続できなくなった

Windows にサインインし使用中に、OneDrive から切断され接続できなくなった場合は、次の点を確認してください。

- ・ ネットワークに接続されていることを確認してください。
- ・ OneDrive に接続するときに、「アカウントに接続」画面が表示されることがあります。この場合は初期設定をしたときに指定したアカウントを入力してください。
- ・ 一度ネットワーク接続を完全に切断してから接続しなおすと OneDrive に接続できるようになることがあります。有線 LAN のケーブルを取り外したり、無線 LAN をオフにしたりして 10 秒程度待ってから、有線 LAN や無線 LAN に接続し、ネットワークに接続しなおして OneDrive への接続を試してください。
- ・ 「OneDrive に接続してください」ポップアップウィンドウが表示されている場合、「接続確認」をクリックして、OneDrive に接続されていることを確認してください。
- ・ Web ブラウザーで OneDrive にアクセスし、「Local Data Protection」フォルダーを開けることを確認してください。

■ 「OneDriveに接続できませんでした。」、「ファイルサーバーに接続できませんでした。」というメッセージが表示される

「OneDrive に接続できませんでした。」、「ファイルサーバーに接続できませんでした。」というメッセージが表示された場合は、次の対処を行ってください。

- ・ OneDrive やファイルサーバーに接続されていることを確認してから、再度「OneDrive に接続する」または「ファイルサーバーに接続する」を行ってください。
- ・ OneDrive やファイルサーバーに接続されているのにエラーが表示された場合、OneDrive やファイルサーバーへのアクセスが集中しているために接続が不安定になっている可能性があります。この場合には、再度「OneDrive に接続する」、「ファイルサーバーに接続する」を行ってください。繰り返しエラーが表示される場合は、システム管理者に OneDrive やファイルサーバーの状況を確認してください。
- ・ OneDrive やファイルサーバーに接続されていない場合には、「接続確認」画面が表示されます。OneDrive やファイルサーバーの「接続確認」画面が表示されたら、「接続確認」をクリックし、OneDrive やファイルサーバーに接続されていることを確認してください。

■ 本製品の初期設定のOneDriveへの接続確認において正しいユーザーアカウント・パスワード・多要素認証を行っているのに「OneDriveが利用できません」となり失敗する

本製品の初期設定の OneDrive への接続確認では、アカウントの認証と OneDrive の個人フォルダーへのアクセス可否を確認しています。アカウント認証が成功した直後の個人フォルダーへのアクセス確認が失敗することがあり、この場合に「OneDrive が利用できません」というメッセージが表示されます。

アカウント認証が成功している場合、再度 OneDrive への接続確認を実行すると正常に接続されますので「接続確認」ボタンをもう一度クリックしてください。

■ 「スマートフォンに接続できませんでした」または「USBメモリに接続できませんでした」というエラーが表示され、「オンライン運用」から「オフライン運用」に切り替えられない

「Local Data Protection for FAT PC」のホーム画面で「オンライン運用」から「オフライン運用」に切り替える場合には、OneDrive またはファイルサーバー（オンライン運用）とスマートフォンまたは USB デバイス（オフライン運用）の両方に接続されている必要があります。

「スマートフォンに接続できませんでした」または「USB メモリに接続できませんでした」というエラーが表示された場合には、スマートフォンまたは USB メモリに接続されていることを確認してから、「スマートフォンに持ち出す」、「USB メモリに持ち出す」を再度行ってください。

スマートフォン、USB メモリに接続されていない場合には、「接続確認」画面が表示されます。

スマートフォン、USB メモリの「接続確認」画面が表示されていたら「接続確認」ボタンをクリックしてスマートフォン、USB メモリに接続されていることを確認してください。

■ 「OneDriveに接続できませんでした」、「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示され、「OneDriveから切断する」、「ファイルサーバーから切断する」を実行できない

「Local Data Protection for FAT PC」のホーム画面で「OneDrive から切断する」「ファイルサーバーから切断する」を実行するには OneDrive、ファイルサーバーに接続されている必要があります。「OneDrive に接続できませんでした」、「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示された場合には、OneDrive、ファイルサーバーに接続されていることを確認してから、再度「OneDrive から切断する」、「ファイルサーバーから切断する」を行ってください。

OneDrive、ファイルサーバーに接続されているのにエラーが表示された場合、OneDrive、ファイルサーバーへのアクセスが集中しているために接続が不安定になっている可能性があります。

この場合には再度「OneDrive に戻す」、「ファイルサーバーに戻す」を行ってください。

OneDrive、ファイルサーバーに接続されていない場合には、「接続確認」画面が表示されます。

OneDrive、ファイルサーバーの「接続確認」画面が表示されていたら「接続確認」ボタンをクリックして OneDrive、ファイルサーバーに接続されていることを確認してください。

オフライン運用について

■ 本製品を「オフライン運用」でご使用の場合、持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USBメモリに接続できないとパソコンを使用することができません

本製品を「オフライン運用」でご使用の場合、次の情報を持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB メモリに送信したり受信したりする必要があります。

- ・ 秘密分散処理された断片
- ・ リスク通知ログ

このため、持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB メモリに接続できないとパソコンを使用することができません。

持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB メモリに接続できないのは次のような場合です。

- ・ 持ち出しデバイスとして登録したスマートフォンとの Bluetooth 接続がないまたは不安定
- ・ スマートフォン上のアプリが実行されていない
- ・ USB デバイスがパソコンに認識されていない（デバイス マネージャーから見えない）
- ・ USB デバイスが接続できていない（コネクタ破損、差し込みが浅いなど）

■ iPhoneを持ち出しデバイスにして使用していると、接続時にエラーになった

iPhone を持ち出しデバイスに使用している場合、スマートフォン用アプリ「Local Data Protection」を起動していないと接続時にエラーになる可能性があります。使用する際には、スマートフォン用アプリ「Local Data Protection」を起動してください。

■ 持ち出しデバイス（スマートフォン）が接続されていないというメッセージが表示される

スマートフォン（Android スマートフォン／iPhone）を持ち出しデバイスとして秘密分散機能を利用している時に、持ち出しデバイスが接続されていないというメッセージが表示された場合は、次の対処を行ってください。

- ・ パソコンの Bluetooth の設定（スタート→設定→デバイスの順にクリックし、画面左側の「Bluetooth とその他のデバイス」をクリック）の画面の右側の Bluetooth のスイッチを一度オフにしてから再度オンにしてください。
- ・ 上記で改善しない場合、パソコンとスマートフォンを再起動してください。
- ・ 上記で改善しない場合、持ち出しデバイスが接続されていないというメッセージの「スマートフォンがない場合」をクリックし、サーバーに接続してください。ただし、この時点で持ち出し中に作成、更新したファイルは、待ち出す前の状態に戻ります。再度持ち出し運用する場合は、持ち出しデバイス設定をやり直してください。

■ 本製品が持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB デバイスに保存されるファイルについて

本製品は、持ち出しデバイスとして登録したスマートフォン、USB デバイスに次のファイルを格納します。

- ・ 秘密分散処理された断片
- ・ リスク通知ログ

これらのファイルサイズの合計は 1MB 未満です。

■ 持ち出しデバイスとして登録したスマートフォンからスマートフォンアプリの「Local Data Protection」やそのデータを削除するとパソコンが使いなくなった

本製品の動作に必要な秘密分散処理された断片やリスク通知ログは、スマートフォンアプリの「Local Data Protection」のアプリデータとして保存されます。このため、「Local Data Protection」をアンインストールしたり、アプリデータやキャッシュを削除したりすると、パソコンにサインインできなくなったりファイルが消失したりするなど正常に使用できなくなります。

■ 「スマートフォン接続」、「USBメモリ接続」画面で「スマートフォンが無い場合」、「USBメモリがない場合」を選択し使用開始するとオフライン運用で作成したファイルや、更新した内容が消えた

本製品の仕様です。

「スマートフォンが無い場合」、「USBメモリがない場合」を選択して「OneDrive に接続する」、「ファイルサーバーに接続する」からパソコンを使い始めた場合、次の制限があります。

- ・ オフライン運用で更新していた内容は破棄されます。
- ・ オフライン運用で新規にファイルを作成した場合は、ファイルのアイコンがエクスプローラーに表示されていますが、ファイルを開くと「ファイルが見つかりません」のエラーを表示し、その後アイコンが消えます。

■ 「オフライン運用」が使用できない

持ち出しデバイスとしてスマートフォン、USB デバイスの登録、システム管理者による使用許可の設定を実施していないと、「オフライン運用」が使用できません。

持ち出しデバイスとしてスマートフォン、USB デバイスを登録する手順、使用許可を設定する手順については、システム管理者にご確認ください。Local Data Protection for FAT PC の操作マニュアル（管理者用）の「第 4 章 オフライン運用」を参照してください。

■ 「持ち出しデバイスの使用申請が許可されていません」のメッセージが表示され、「オフライン運用」に切り替えられない

「オフライン運用」に切り替えるには、スマートフォン、USB デバイスの使用許可を申請する必要があります。

「オフライン運用」、スマートフォン、USB デバイスの使用許可の申請については、システム管理者にご確認ください。

■ 「スマートフォンに接続」画面でスマートフォンに接続できない

次の対処を行ってください。

- ・ パソコンの Bluetooth がオンになっていることを確認してください。
- ・ スマートフォンの Bluetooth がオンになっていることを確認してください。
- ・ スマートフォンで「Local Data Protection」アプリが実行されていることを確認してください。
 - ※1 スマートフォンを再起動すると「Local Data Protection」は終了されます。スマートフォンを再起動したら「Local Data Protection」を実行しなおしてください。
 - ※2 「Local Data Protection」を実行した後、タスク画面などから終了した場合には「Local Data Protection」を実行しなおしてください。
- ・ 周囲の電波状況の影響で Bluetooth 接続が安定しない場合、スマートフォンと接続することができません。スマートフォンをパソコンに近づけるか別の場所へ移動するかしてからスマートフォンの接続を行ってみてください。
- ・ パソコンとスマートフォンのペアリングを再度行ってみてください。

■ Windowsにサインインしてパソコンを使っている間にスマートフォンから切断されスマートフォンに接続できない

次の対処を行ってください。

- ・ パソコンの Bluetooth がオンになっていることを確認してください。
- ・ スマートフォンの Bluetooth がオンになっていることを確認してください。
- ・ スマートフォンで「Local Data Protection」アプリが実行されていることを確認してください。
 - ※1 スマートフォンを再起動すると「Local Data Protection」は終了されます。スマートフォンを再起動したら「Local Data Protection」を実行しなおしてください。
 - ※2 「Local Data Protection」を実行した後、タスク画面などから終了した場合には「Local Data Protection」を実行しなおしてください。
- ・ 周囲の電波状況の影響で Bluetooth 接続が安定しない場合、スマートフォンと接続することができません。スマートフォンをパソコンに近づけるか別の場所へ移動するかしてからスマートフォンの接続を行ってみてください。
- ・ パソコンとスマートフォンのペアリングを再度行ってみてください。

■ 「OneDriveに接続できませんでした」または「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示され、「オフライン運用」から「オンライン運用」に切り替えられない

「Local Data Protection for FAT PC」のホーム画面で「オフライン運用」から「オンライン運用」に切り替える場合には、OneDrive またはファイルサーバー（オンライン運用）とスマートフォンまたは USB デバイス（オフライン運用）の両方に接続されている必要があります。

「OneDrive に接続できませんでした」または「ファイルサーバーに接続できませんでした」というエラーが表示された場合には、OneDrive またはファイルサーバーに接続されていることを確認してから、「OneDrive に戻す」、「ファイルサーバーに戻す」を再度行ってください。

OneDrive、ファイルサーバーに接続されているのにエラーが表示された場合、OneDrive、ファイルサーバーへのアクセスが集中しているために接続が不安定になっている可能性があります。

この場合には再度「OneDrive に戻す」、「ファイルサーバーに戻す」を行ってください。

OneDrive、ファイルサーバーに接続されていない場合には、「接続確認」画面が表示されます。

OneDrive、ファイルサーバーの「接続確認」画面が表示されていたら「接続確認」ボタンをクリックして

OneDrive、ファイルサーバーに接続されていることを確認してください。

■ 「スマートフォンに接続できませんでした」、「USBメモリに接続できませんでした」というエラーが表示され、「スマートフォンから切断する」、「USBメモリから切断する」を実行できない

「Local Data Protection for FAT PC」のホーム画面で「スマートフォンから切断する」、「USBメモリから切断する」を実行するにはスマートフォン、USBメモリに接続されている必要があります。「スマートフォンに接続できませんでした」、「USBメモリに接続できませんでした」というエラーが表示された場合には、スマートフォン、USBメモリに接続されていることを確認してから、再度「スマートフォンから切断する」、「USBメモリから切断する」を行ってください。

スマートフォン、USBメモリに接続されていない場合には、「接続確認」画面が表示されます。

スマートフォン、USBメモリの「接続確認」画面が表示されていたら「接続確認」ボタンをクリックしてスマートフォン、USBメモリに接続されていることを確認してください。

■ デバイスマネージャー上はUSBメモリが見えているのに、オフライン運用でUSBメモリを利用できない

Windows の制限事項です。

USB メモリをエクスプローラーの「取り出し」メニューで取り外したときに、Windows が USB メモリのデバイスとしての接続解除を通知しないことがあるため発生します。

USB メモリをエクスプローラーの「取り出し」メニューで取り出したら、パソコン本体から USB メモリを取り外してください。

パソコン本体から USB メモリを取り外し、再度取り付けを行わないと、USB メモリにアクセスすることができません。

■ 商標および著作権

Google、Google Drive は、Google LLC の商標または登録商標です。

iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Client Computing Limited 2023-2024